

策定趣旨

- ・ 国における「第9期北海道総合開発計画」のスタート(R6.4～)
- ・ 道における新たな「北海道総合計画」のスタート (R6.7～)
- ・ 人口減少対策に係る「第3期北海道創生総合戦略」のスタート (R7.4～)



これらの計画・戦略が示す基本的な方向に沿って効果的に地域振興を進めるため、**“後志地域における政策展開方針”**を策定し、**重点的に取り組むプロジェクト**を規定 (R7.4スタート)

【特徴】

“後志地域における政策展開方針”は、**開発建設部 と 振興局が共有する 地域づくりのビジョン**として位置づけ



多様な主体の連携・協働により、**地域課題を解決 (= “共創”)**

- 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進
- 地域資源を活用した持続可能な観光地域づくり
- 多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくり
- 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大

目的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、**農林水産業の持続的発展**を図るとともに、ワインをはじめとする豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、**農林水産物の高付加価値化やブランド化**を促進する。

施策

■ 高品質で収益性の高い農産物の栽培及びICTを活用した省力化技術の普及

- さつまいもなどの高収益作物の導入推進
- ICTを活用した省力化技術の普及
- 鳥獣被害防止対策の推進

■ 道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かしたワイナリーの集積とワイン製造におけるカーボンニュートラルの取組の普及促進

- 栽培・製造・マーケティング等の技術の向上
- ワイン製造におけるカーボンニュートラルに係る取組内容の調査・研究及び各ワイナリーへの普及促進

■ 水産資源の持続的利用や新たな増養殖の推進

- トラウトサーモンなど新たな養殖の推進
- 漁港施設の有効活用等による海業の取組の推進
- 水産物のブランド化など付加価値向上に向けた取組の推進
- コウナゴなど適切な資源管理の推進
- 藻場保全などブルーカーボンに関する取組の推進 など

■ 林業・木材産業(全道屈指の強度を持つ「ようていカラマツ」等)の振興

- 地域の特性に応じた森林づくりの推進
- 地材地消の推進
- 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進 など

■ 多様な農林水産業の担い手の育成・確保

- 担い手の育成・確保

■ 多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大

- 特産品の発掘・磨き上げ
- 安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上
- 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
- 地元食材のレストランでの利用促進など産消協働の推進
- 官民協働による国内外でのプロモーションの展開

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi商談会の開催[振興局]

概要:後志管内の1次産品や加工品をホテルやレストランへ売り込む商談会を開催

■ 「漁業就業体験事業」を実施[町、民間、振興局]

概要:漁業に関心を持つ人材を漁業者が受け入れ、定置漁業・底建網漁業や水産加工に係る就業体験を実施

■ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進(民間施設における地域材利用推進の取組)[振興局]

概要:後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、木材関連業者、リゾート開発会社及び市町村建築担当課職員などを対象とした地域材利用施設の見学会(バスツアー)や情報交換会を実施

ShiriBeshi商談会の様子



地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト 4

目的

自然景観や地域の文化の組み合わせによるアドベンチャートラベルや、ワインをはじめとする多様な食資源を活かしたツーリズムの推進など、地域ならではの優れた地域資源を活用し、旅行者の滞在期間の延長や観光の通年化、広域化を図り、持続可能な観光地域づくりを推進する。

施策

■ 後志地域の自然景観や食資源を活用した広域観光の推進

- 農業・漁業体験など一次産業や食品加工業をはじめとする二次産業と観光事業者との連携による「食」を活かした魅力ある観光地づくり
- 自然景観や食などの地域資源を活用した広域観光の推進

■ ウィンタースポーツをはじめ、サイクリング、ラフティングなどのアクティビティや地域の文化等の組み合わせによるアドベンチャートラベルの推進

- インバウンド受入体制の充実
- 官民協働による国内外でのプロモーション展開
- 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供（ニセコ山系ロングトレイルなど）

■ 地域の観光ビジネスで活躍できる国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成

- インバウンド受入体制の充実
- 商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成

■ 地域の稼ぐ力を引き出す管内のDMOとの連携

- 北後志地域やニセコ地域を核とした周辺地域への広域化や観光消費の拡大
- DMOとの連携によるプロモーションや情報発信

■ 新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進

- 宿泊地(ハブ)と周辺の地域(サテライト)が連携した、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
- シーニックバイウェイ北海道の推進
- 地域交通ネットワークの充実・確保
- 広域観光の推進
- インバウンド受入体制の充実
- 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

これまでの主な取組・成果

■ 酒と食をテーマとした広域観光推進会議の開催[振興局・後志観光連盟]

概要:後志管内の豊富な食資源と豊かな景観や温泉など優れた観光資源を組み合わせた観光誘客と長期滞在を目指した会議を開催

■ 後志管内ATコンテンツ磨き上げに向けたインフルエンサーの招へい[振興局・ニセコリゾート観光協会]

概要:2023年に北海道で開催されるアドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)を踏まえ、ATWS初日に開催される管内の日帰りツアーコース等に外国人インフルエンサーを招へいツアーを体験してもらうことにより、コンテンツの磨き上げや情報発信を実施

インフルエンサーによる投稿記事



多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト 5

目的

労働者の通年雇用化や若年者への地元企業の魅力発信等を通じた**人材の流出抑制、移住・定住施策と一体となった人材誘致、グローバル人材の育成や多文化共生の推進**、地域公共交通の利用促進や運転手確保などによる**地域交通ネットワークの確保**、再生エネルギーの活用や森林づくり、地域住民等のカーボンニュートラルに対する更なる意識醸成などを通じた**環境と調和した地域づくり**を推進する。

施策

■ 冬季に偏在する労働者の通年雇用化、学生と地元企業のマッチング支援や学生に対する情報提供を通じた**地元定着の促進**

- 無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
- 若年者に向けた地元企業説明会等の開催

■ 国際感覚やコミュニケーション能力を備えた**グローバル人材の育成、多文化共生の推進**

- 多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や外国語実践機会等の創出
- ShiriBeshi留学などを通じた**グローバル人材の育成**
- 市町村と連携した多文化共生の場の提供

■ 市町村と連携し、**移住定住施策と一体となった人材誘致**

- 移住フェアなど後志をPRする場へのブースの出展等
- SNS等による情報発信

■ **地域公共交通ネットワークの維持支援**

- 市町村や事業者と連携したバスの運転手確保の取組の実施
- 公共交通利用促進のための広報活動

■ 地域住民等の**カーボンニュートラルに対する意識醸成**

- 地域住民等を対象とした出前講座などの啓発活動の実施

■ 地域の特性を踏まえた**防災対策の推進**

■ **安全かつ安心に暮らせる医療・福祉体制の整備**

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi留学の実施[町、民間、振興局]

概要:道内外の大学生等が、リゾート関連企業でのインターンシップや、地域の方々との交流を通じて学ば
人材育成プログラム。サマープログラムとウインタープログラムを開催

■ 若者向け合同企業説明会の開催[振興局]

概要:後志教育局などの関係機関と連携し、管内の高校生を対象として、将来ビジョンを描くためのキャリア教育を実施
また、職業選択の視野を広げる一助として、地元企業の概要や仕事の内容を周知することで、地元での就業促進を図るとともに、勤労観などを
形成することで就職後の早期離職の抑制を図ることを目的として開催

ShiriBeshi留学の様子



目的 空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北海道近代化ストーリーである「炭鉄港」が2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられる中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちに向けた事業を展開するなど、地域特有の資源を活かした取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 炭鉄港めしフェスタの開催 [振興局]

開催日：①令和6年9月14日～15日
 ②令和6年9月26日～29日
 場 所：①岩見沢駅東市民広場公園
 ②札幌大通公園
 概 要：①「いわみざわ情熱フェスティバル」及び②「さっぽろオータムフェスト」において炭鉄港めしブースを開設。



■ 炭鉄港プレミアムガイドツアーの実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和6年10月11日～11月16日
 場 所：芦別市、赤平市、江別市、美唄市、三笠市
 概 要：普段立ち入ることが出来ない施設などを特別に周遊する満足度の高いバスツアーを実施（約70名参加）。



■ 炭鉄港アートプロジェクト2024の開催 [振興局]

開催日：令和6年9月29日～10月14日
 場 所：JR岩見沢駅 自由通路
 概 要：認定5周年企画として、炭鉄港をテーマにしたアートプロジェクトを初開催。国際的に活躍するサウンドアーティスト大黒淳一氏が、炭鉄港をつないだ鉄道に焦点をあてた音のアート作品を制作・展示（約34,200名来場）。



■ 炭鉄港ガイド付きミニツアーの実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和6年4月27日、5月26日、7月21日、9月7日、9月15日
 場 所：小樽駅、室蘭駅、江別駅、追分駅、岩見沢駅
 概 要：炭鉄港の認知度向上を図ることを目的に、JRヘルシーウォーキングイベントウォークに合わせ、炭鉄港構成文化財や関連施設を巡るガイド付きミニツアーを実施。



R7年度の主な取組

- ガイド等団体合同説明会及びインタープリター※養成事業の実施 [炭鉄港推進協議会]
- 学生向け炭鉄港インターンシップの実施 [炭鉄港推進協議会]
- 道外の鉄道ファン等新たな層に向けた誘客イベント等の実施 [炭鉄港推進協議会・振興局]

※インタープリター…「インタープリテーション」を実施する人。炭鉄港に当てはめると、例えば、構成文化財の完成年月や仕組みの説明に留まらず、歴史や文化など地域のストーリーを総合的に関連付けて解説できるような人を指す。

令和7年度 後志総合振興局独自事業一覧

7

(単位:千円)

番号	課	種別	区分	事業名	事業期間 (年度)	事業概要	予算額
1	地政	コラボ	継続	ShiriBeshiグローバル インターンシップ事業	R5 ~ R7	国際的リゾートが展開し、外国人観光客が数多く訪れる 国際性豊かな後志地域において、道内外の若者のイン ターンシップ受入や、多文化共生の場への参加促進を 行い、関係人口の拡大を目指す。	4,084
2	地政	創生	継続	後志管内公共交通活 性化事業	R6 ~ R8	後志管内の地域公共交通の主軸を担うバスの運転手 等の確保に向け、道内外の就職相談会でPR活動を実 施するとともに、北海道新幹線札幌延伸を見据え、管内 の団体と連携しながら後志の魅力を発信し、気運の醸 成を図る。	1,991
3	環生	創生	新規	ニセコトレイル利用促 進事業	R7 ~ R9	多様な生物環境や希少な自然地形が分布するニセコ積 丹小樽海岸国定公園内に設置した「ニセコトレイル」に ついて、利用を促進しながら受益者参加型による管理 体制の構築を図る。また、アドベンチャーツーリズムに 適したコンテンツとして確立させ、夏季の後志観光を推 進する。	3,500
4	環生	創生	継続	ShiriBeshiゼロカー ボン推進事業	R5 ~ R7	2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、道 民の意識醸成のための各種啓発活動を行うとともに、 後志地域の特性を活かし、管内ワイナリーと連携して カーボンニュートラルの取組促進を図る。	1,520
5	商工	創生 重点	継続	ShiriBeshi持続可能 な観光地づくり推進 事業	R5 ~ R7	後志地域を持続可能な観光地としていくため、DMOと 連携しながら地域内の観光消費の拡大に向けて取り組 むとともに、環境負荷が低いアドベンチャートラベルの 推進等にも取り組む。	3,800
6	商工	コラボ 共創	継続	後志地域人材確保・ 人材誘致推進事業	R6 ~ R8	管外からの人材の呼び込み、地域間での人材のマッチ ング、若年者の地元定着促進、企業活動の省力化によ り、人手不足への対応を図る。	2,800 357
7	商工	創生	新規	ShiriBeshiの気候風 土が育む食のレベル アップ事業	R7 ~ R9	後志管内で意欲的な取組を行う事業者に対し、生産や 商品化、販路拡大の各段階で伴走型の支援を行い、後 志管内の食に関するレベルアップを図る。	2,392
8	農務	創生	継続	しりべしゼロカーボン 農業展開事業	R5 ~ R7	化学肥料・農薬の低減に向けた技術実証と、クリーン農 業を始めとした地域資源の有効活用・人材育成に取 り組む。	682
9	林務	創生	継続	後志版「ほっかいどう 企業の森林づくり」推 進事業	R5 ~ R7	ニセコエリアにおけるリゾート開発会社等に対し、ほっか いどう企業の森林づくりへの参画を働きかけ、森林づく りによるゼロカーボン北海道の推進につなげるととも に、リゾートエリアの各企業等に対し、地域材の利活用 促進に向けた働きかけを行う。	220
10	水産	創生	新規	コウナゴ漁期前調査 事業	R6 ~ R8	水産試験場や関係漁業者と連携して、コウナゴ漁期前 調査を実施し、水産試験場にて取りまとめの上、最適 な漁獲サイズに成長する時期を予測。今後の自主的な資 源管理など、漁業者の意識醸成を図る。	408
合計							21,754